

**CIGS ミハイル・ガルージン駐日ロシア大使セミナー
「5月の日露首脳会談後の二国間関係の展望」**

日 時 2018年6月21日(木) 15:00-17:00 (受付開始 14:30)
会 場 新丸ビルコンファレンススクエア Room 901
 (東京都千代田区丸の内 1-5-1 新丸ビル 9階)
講 師 ミハイル・ユリエビッチ・ガルージン駐日ロシア連邦特命全権大使
モデレーター 小手川 大助 キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹
言 語 日本語

開催趣旨

3月18日のプーチン大統領の再選と新内閣の成立とともに、日露関係も新しい局面に入ってくることが予想されます。もっぱら政治的決断に依存すると考えられる領土問題はさておき、ここ3年以上の日露の経済協力の進展や昨年に世界で最初に実施された日本におけるロシア文化の祭典「ロシアの季節」、今年の日露文化年と日露間では数々のイベントが目白押しになっており、ソ連時代とは全く異なる新しいロシア観が必要な時代になっています。一方で、米国や欧州の政治ヘゲモニーに関する争いに影響された「ロシアバッシング」とも考えられる事件が数多く起こっており、これに影響されたいわゆる「主流マスメディア」から流されてくる情報は、必ずしも事実を正確に報道していないという嫌いがあります。そのような観点を踏まえ、3月1日に就任されたガルージン新大使に、最近のロシアをめぐる諸問題について忌憚のない意見をうかがう機会を設けました。新大使はゴルバチョフ大統領の日本語通訳を務めるほどの日本通であり、ロシアにおける対日政策決定に重要な役割を果たされている方ですので、大使の考え方を直接に聞く機会はまことに得難いものだと存じます。

プログラム

15:00-15:10	開会挨拶 福井 俊彦 (キヤノングローバル戦略研究所 理事長)
15:10-16:30	講 演 「5月の日露首脳会談後の二国間関係の展望」 ミハイル・ユリエビッチ・ガルージン駐日ロシア連邦特命全権大使
16:30-17:00	質疑応答 モデレーター：小手川 大助

講師紹介

ミハイル・ユリエビッチ・ガルージン駐日ロシア連邦特命全権大使

大使略歴

誕生日：1960年6月14日

出生地：モスクワ、ソビエト連邦

学歴：1983年モスクワ国立大学附属アジア・アフリカ諸国大学卒業

日本語、英語が堪能

外交キャリア：

1983年 外務省入省

1983-1986年 駐日ソ連大使館、職員

1992-1997年 駐日ロシア大使館、職員

2001-2008年 駐日ロシア大使館、公使

2010-2012年 ロシア外務省、第3アジア局、局長

2012-2017年 駐インドネシアロシア大使

2018年1月-至現在 駐日ロシア大使

家族構成：妻、息子1人

国家褒賞：友好勲章